



＼ 議会がグッと近くなる！ ／

つばめ市議会 NOTEBOOK

No.82
2025.8.1



発行：新潟県燕市議会 企画編集：議会広報等特別委員会

次は
「市内視察」

総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、産業建設常任委員会が、それぞれ担当している事業及び関連する施設を訪ねて、現状を学びました。その様子を報告します。

活



(※1) IoT (Internet of Thingsの省略)…家電製品、車、建物、工場の機械など様々な「モノ」をインターネットに接続することで、離れた場所から対象物を計測・制御したりモノ同士の通信を可能にする技術。

大河津分水路改修工事（山部掘削現場）

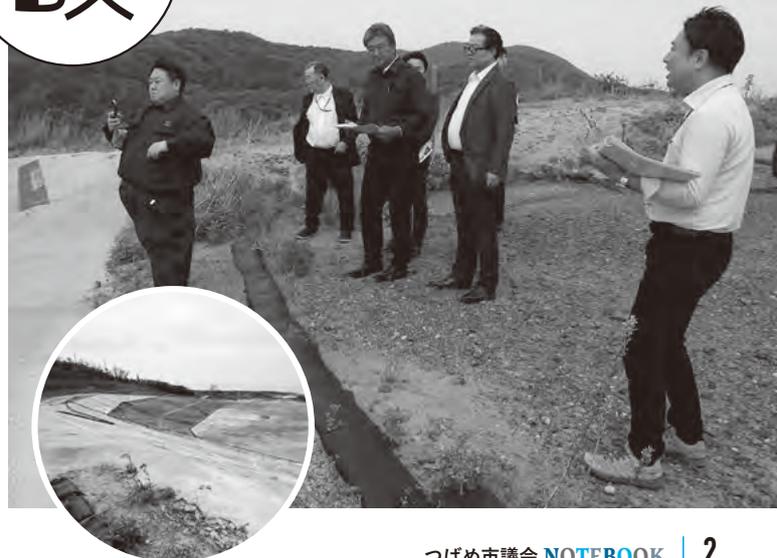
令和20年度完成目指し大改修

1922年の通水以来、地域の治水の要となってきたが、老朽化や洪水処理能力の不足が課題となっており、令和20年度の完成を目指して改修工事が進んでいる。

直近の課題は。 **新たな掘削土の有効活用先の確保**

A 改修工事では、大量の掘削土が発生するが、その利用先の確保が課題となっている。掘削土はこれまで堤防整備や農地のかさ上げ、卸売市場の盛土材などに活用されてきたが、掘削土の発生量が非常に多いため、全てを地域内で消化しきるのが難しく、今後も新たな有効活用先を見つける必要がある。

改



「チャレンジ! 燕市議会」

株式会社 楽々 **産**

最先端技術を活用

従来とは異なる最先端のIoT(※1)技術を活用したキノコ生産システムを提供している「株式会社楽々(らら)」を訪ねた。

この生産システムの特徴は。 **地球にやさしい栽培**

A IoT技術を活用してキノコの生産環境を自動管理・最適化しており、省力化と高品質を両立させている。また廃棄物も削減できる環境配慮型の生産システムであり、添加物・栄養剤を使わずに有機栽培が可能。温暖化ガス排出量も大幅に削減できるなど、国内外で特許を取得した他に類を見ない技術となっている。

ひまわりの家 **市**

創作・生産活動の機会を提供し、社会参加を促進

ひまわりの家は、燕市にある生活介護事業所で、NPO法人が運営している。障がい者の自立支援を目的に、日常生活の介助や創作・生産活動の機会を提供し、社会参加を促進する施設である。

地域連携で交流を深める

ひまわりの家ではどのような支援やプログラムがあるか。

促

A 障がいを持つ方々が安心して生活できるよう、日常生活の介助、創作活動、生産活動、リハビリテーションを実施している。また、年間行事を通じて、利用者の社会参加や自己表現を促し、より豊かな生活を支援するなど地域との連携にも力を入れ、交流を深める機会を提供している。

市議会議員が



児童クラブメート **総**

利用者増加に対応

増

吉田南小学校区では、大規模な団地造成に伴い、今後児童クラブの利用者数の増加が見込まれる。そのため、旧吉田南保育園を大規模改修し、「児童クラブメート」を小学校から移転することにより受け入れ定員数の拡大を行なった。

受け入れ定員倍増

Q 新たな児童クラブの受け入れ定員数はどのくらい増えたのか。

A 受け入れ定員は65名から120名に拡大した。

総 総務文教常任委員会

市 市民厚生常任委員会

産 産業建設常任委員会

済生会新潟県央基幹病院 **市**

地域医療の中核

地域全体で住民の健康を支える医療体制を築くことの重要性を踏まえ、県央エリアの急性期医療を担う県央基幹病院を訪ねた。

市民のヘルスリテラシー^(※2)向上を

医

Q 救急系受入が想定を大きく上回っているとのことだが、その状況や対策を伺いたい。

A 当初目標約6000件に対し1万件を超える救急患者があり、救急医療は逼迫^{ひっぴく}している。入院に至らない軽症患者が多数を占め、高齢化も相まってこの状況は続く可能性があり事態は深刻だ。市民のヘルスリテラシー向上を図り、生活習慣改善や高齢者の日常生活支援、一人一人の予防行動の徹底が市民のQOL^(※3)向上と持続可能な地域医療のために不可欠ではないかと考えている。



基幹病院の屋上ヘリポート

(※3) QOL (Quality of Lifeの省略) …生活の質や人生の質を意味する言葉。単に物質的な豊かさだけでなく、精神的な満足度や幸福度、健康状態など、生活全般における質を総合的に評価する概念。

(※2) ヘルスリテラシー…健康や医療に関する情報を集め、それが信頼できる情報かどうかを判断し、自分の健康管理や病気の予防に役立てる能力。



※ここに掲載していない議案も含め、各議案等の議決結果は、15ページをご覧ください。

議案に注目!

ズームイン」



B 園児が快適に過ごせるように、電気・ガス等の費用を支援 (イメージ写真)

燕応援
フェニックスクーポン券
第7弾
500円割引

有効期限：令和7年12月31日まで

- お会計1,000円(税込)につき、1枚使用可能
- 登録店舗でのみ使用可能、本券をコピーしての使用不可

C 物価高騰の影響が長期化、市民生活や経済活動を下支えするためクーポンを全世帯に配布

Pick Up ▶

2

地域の交流拠点、自治集会施設改修

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

町内関係費 集会施設建設費補助金

156万円

改修費用の30%以内で補助

問

集会施設建設費補助金の上限額と、自治会への制度の周知方法を伺う。

答

今回補助を行う2団体の申請は集会施設の改修で、補助額は対象事業費の30%以内、上限額は150万円としている。また、制度の周知方法については、市のホームページ掲載のほか、毎年配付している「自治会長の手引き」においてもお知らせしている。**総**

Pick Up ▶

3

光熱費等高騰の影響に 対する支援

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

私立保育園等光熱費等支援事業 280万円

在籍人数に応じた金額を支援

問

支援金額を在籍人数ごとに設定した理由について伺う。

答

在籍人数が多いほど冷暖房を使用する保育室が多くなるほか、給食調理でも規模が大きいと調理数が増え、電気・ガスを多く使うことになるため、在籍人数に応じて4区分で設定させていただいた。支援単価については、公立保育園の令和5年度・6年度の上昇相当額を参考としている。**(写真B)市**

子宮頸がん検診

「HPV検査単独法」導入

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

健(検)診事業 健康管理システム改修業務委託料 99万円

陰性の場合検診は5年に1回

問

HPV検査で陰性だった人々たちへの周知啓発や受診勧奨について伺う。

答

結果が陰性の場合、検診は5年に1回でいいことになる。5年後にはきちんと検診案内が出せるようにと考えている。その間の婦人科受診が遠のかないよう、健康相談等で丁寧に対応していきたい。**市**



「録画も生中継も!」 「スマホやパソコンで!」
議会の様子が映像で見られます。

燕市議会 議会中継 で検索してください。

暮らしに身近な 「議案のココに

Pick Up ▶ 1

吉田中学校が 国の委託事業採択校へ

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

よりよい生き方を実践する力を育む
道徳教育の推進事業
41万円

考え、議論する道徳学習

問 この事業の成果報告は、どこに向けて行うのか。市内の学校のほかの生徒も対象とするのか伺う。

答 1月の教育成果報告会において、市内の全学校の教職員等に向け成果を発表する。児童生徒を対象とした報告は、現在考えていない。全県の学校に向けては、県教育委員会から成果報告をする予定となっている。(写真A) **総**



A 公開授業イメージ (文科省：道徳教育アーカイブスより)



D トラクターなど農業用機械の導入を支援

第7弾燕応援 フェニックスクーポン発行

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

燕応援フェニックスクーポン発行事業
1億2607万円

一世帯当たり4000円分配布

問 一世帯当たり4000円分というのは、世帯人数の多い家庭に対して不公平ではないか。

答 一人一人に配る場合は、委託料など事業費がかさむことから、限られた予算でより効果的に実施したいと考えている。(写真C) **産**

経営改善に取り組む 農業者等へ支援

令和7年度燕市一般会計補正予算(第2号)

農地利用効率化等支援事業補助金
629万円

詳細については市へ相談を

問 農業者への周知方法を伺う。また、年度途中に補助金の要綱改正があった場合の対応はどうか。

答 国・県の補助事業はいろいろなメニューがあり、国・県へのホームページへアクセスできるように対応している。詳細については相談いただきたい。また、国・県の条件に当てはまれば、その都度補正予算で対応したい。(写真D) **産**

総務文教常任委員会 市民厚生常任委員会 産業建設常任委員会

15の視点 一般質問

気になるキーワード、
どれですか？



議員が独自の視点で市に考えを聞く一般質問は今回15名が登場。
15のキーワードから興味あるページへどうぞ。議員の解説も必見です！
(一般質問全編は各議員のQRコードから録画映像でご覧いただけます)

- 女性の健康
- 公共交通
- 地域活性化
- 医療用補正具
- 地域福祉計画
- 農業問題
- 人手不足
- 県央基幹病院
- 産業構造
- 道路標示劣化
- 再稼働問題
- 政策達成度
- 農業再生
- ワクチン接種
- 県央広域連携

- P.13
- P.13
- P.12
- P.12
- P.11
- P.11
- P.10
- P.10
- P.9
- P.9
- P.8
- P.8
- P.7
- P.7
- P.6

質問項目 ▶ 女性の健康 PTAについて



女性の健康を守る取り組みを

たかはしたえこ
高橋妙子

(創成)



答弁 今後も一層推し進めることが重要

問 市民に対しての更年期障害の周知啓発及び支援体制は。

答 令和2年度から子宮頸がん検診を全ての施設検診にすることで産婦人科のかかりつけ医を持つことにつなげ、更年期障害についても相談しやすい環境づくりをしている。

問 子宮頸がん検診の意義と必要性をどう考えているか。

答 早期発見、早期治療につなげることで子宮頸がんによる死亡率を減少させるために重要である。また、国の指針では2年に1回の受診となっており、燕市では20歳から39歳までは毎年、子宮頸がん検診の受診体制を整備している。

問 女性の活躍を推進していくと同時に、女性の健康をマネジメントする取り組みが必要なのではないか。

答 健康増進に向けた啓発のため、県内市町村に先駆けて中学生や高校生などの各年代に対応したプレコンセプションケア事業



令和5年度プレコンセプションケア事業

女性の身体についての理解を深めるためのプレコンセプションケアセミナー

業を女性に限らず実施しているが、女性については一度に複数の検診が受けられるプレコンセプションケア検診やセット検診などを実施している。女性ならではの健康問題を解決していくため、今後も女性向け、企業向けの取り組みを推し進めることが重要。



質問項目 ▶ 公共交通について



録画映像

交通弱者の公共交通とは

さいとうかずや
齋藤和也

(創成)



答弁 さらなる利用維持と利便性向上に努める

問 今後のきららん号の展望について伺う。

答 運行するタクシース業者の民業圧迫のおそれもあり、増便は難しいと考えている。路線バスやコミュニティバスとの役割分担を図りながら、課題解決に努めていく。

問 燕市の交通空白地域について伺う。

答 現在ドア・ツー・ドアでかけきらん号が市内全域で利用可能であることから、交通空白地域はないものと考えている。

問 燕市は複数の交通手段が整備されているが、鉄道駅やバス停留所から遠い集落や高齢化が進む地域では、交通空白地域が依然として存在している。また、公共交通が整備されていても、実際に使えるかどうかは大きな地域差があり、特に免許返納後の移動手段の確保が喫緊の課題である。

問 公共交通の利用促進に向けたPR活動について伺う。

答 コミュニティバス沿線の自治会へ利用促進を図る周知チラシを配布するほか、令和6年度に公共交通フェスタを実施し、公共交通を身近に感じてもらうながら利用促進を呼びかけている。



図：公共交通の利用促進に向けたPR活動について(燕市公共交通フェスタ)

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目 ▶ 地域活性化 人生100年時代



録画映像

地域活性化に向けて、現状は

ふじいひでと
藤井秀人

(新風みらい)



答弁 活力は減退してきていると感じられる

問 高齢者が社会を支えていく状況になつていく中、高齢者団体に対するケアも重要と考えるが。

問 今後地域運営コミュニティを担う組織は、どのような形が望ましいか。

答 地域運営を担うコミュニティとして想起されるのは自治会や、まちづくり協議会であり地域住民が主体的に参加し、継続的にできることが望ましい形だと考えている。

問 間もなく来年3月に市政合併20周年を迎えるが、地域の活力が減退していくと市全体が衰退していつてしまう。

問 地域の活力が減退していると感じているが、どのような認識を持っているか伺う。

答 活発に活動している地域もある一方で、市全体で組織の担い手不足などの問題から、総じて活力は減退してきていると感じられる。

問 高齢者団体に対しての補助金の実情と今後の見直しを考えているのか伺う。

答 老人クラブ、介護予防・生活支援サービスタワー運営費補助金、ふれあいサロン等の支援があり、適時適切に対応していきたい。

高齢者団体への支援の拡充は



人生100年時代に向けて高齢者も社会の支えに

質問項目 ▶ 病気等で外見の変化に苦しむ方の経済的・精神的負担軽減 GIGA 第2期における端末の更新



アピランスケアの拡充を！

近藤隆行

(公明党)



答弁 他の自治体等も調査し検討していく

市内の全小中学校の生徒が使用している端末（PC）が今年度に一齐に更新される。適切な処分と有効活用が



問 市は脱毛症等で苦しむ方から、支援の相談を受けたことはあるか。
答 受けたことはあるが、対象ではないと答えた。がん患者同様に、脱毛症等で外見の変化に苦しむ市民の中には子供の割合も高いとされている。他の自治体では支援をしているところもあり、燕市としても支援の拡充が必要であると考えるが見解を伺う。他の自治体を調査して検討していく。



問 アピランスケアとは、手術や治療によって外見の変化に苦しむがん患者をケアするもので、市も支援をしているが、外見の変化に苦しんでいるのはがん患者だけではない。脱毛症等で苦しんでいる市民に対して、支援の拡充が必要である。



必要と考える。生徒の個人データなどが流出しないよう適切な処分が必要だがいかがか。



医療用ウィッグは高価で、脱毛症等で苦しむ方の負担は大きい



問 国の方針に倣い適切な処分される大量の端末を生徒の学習に利用したり、分解等を障がい者福祉施設にお願いしてはどうか。
答 提案を受けた活用方法も含め検討する。

質問項目 ▶ 第4次地域福祉計画



地域福祉計画の現状と課題

大島靖浩

(創成)



答弁 多職種・他機関連携を図り対応

市民の地域活動やボランティア活動への意欲は低下していることから、各種施策を通して主体的に福祉への理解を深めることができるよう、関係機関や団体と連携して支援体制の充実に努めている。

問 福祉教育・啓発活動の取り組み状況について伺う。
答 バリアフリーフェスを開催し、参加団体の活動紹介や製品の販売を通して福祉の理解促進を図っている。また、学校教育においても手話や点字の授業から思いやり等を育む指導を実践している。



問 地域における子供の居場所づくりについて伺う。
答 社会全体で子供の居場所になり得る場所を設けることは必要である。こども食堂の開設など、これから居場所づくりに取り組もうとしている人たちの支援を通じて、できるだけ多様な居場所が持てるよう環境整備に努める。



燕市ささえあいプラン
第4次地域福祉計画
第4次地域福祉活動計画

出典：厚生労働省

問 児童虐待の防止について伺う。
答 児童虐待の防止につながるよう、子育て応援課にこども家庭センターを設置し、妊娠前から切れ目のない相談や支援体制の充実に努めている。



質問項目 ▶ 農業問題 市長の政治姿勢



録画映像

農業問題の今後について

つちだ のぼる
土田 昇
(日本共産党議員団)



答弁 **農地経営が維持できるように努めていく**

今年のコメ不足の原因をどのように見ているか。

問 昨年の作況指数は間違っていたかと思うがどうか。

答 新潟県の作況指数98の「やや不良」は、農家のもっと少ないと思う実感としては、少し乖離があると思う。

問 農林業経営体調査に基づいて、現地確認する必要があると思うがどのように対応するのか。

答 今年2月1日を調査期日として実施された2025年農林業センサス、農林業経営体調査は5年ごとに実施されている。

問 昨年の大豆やほかの作物の作付面積はどうか。

答 大豆が270ヘクタール、野菜が112ヘクタール、果樹が8ヘクタール、花卉(かき)が5ヘクタールとなっている。

問 最近の新聞報道では、今年の米価の価格が予想されているがどのように感じているか。

答 一般コシヒカリの仮渡金60キロ2万8000円以上を目標としていると承知している。

問 国や県は大規模経営を示しており、「大規模経営だけでは農地は守れない」と言ってきたがどうか。

答 大小規模経営にかかわらず、農地経営が維持できるように努めていく。



作況指数の実態は

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目 ▶ 中小企業、小規模事業者の人手不足、後継者不足問題 空き家問題



録画映像

人手不足にどう挑む!?

いなむらたかゆき
稲村隆行
(創成)



答弁 **支援事業を確実に周知していく**

現在、中小企業や小規模事業者は担い手不足、エネルギー高、人件費高騰など、様々な課題を抱えている。その中で人手不足について、市内の事業者からは「設備があっても人手が足りない」等、今後の事業継続に不安の声が上がっている。

問 人手不足が深刻化している事業者の業種や規模に傾向があるか。

答 業種は販売業の有効求人倍率が6倍程度。また、建設業も5倍弱で、緊急度が高い。規模は特に10人以下の小規模事業者が人材不足となっていると承知している。

問 「DX相談窓口」は、人手不足を解消したい、働き方を改善したい等の事業者の悩みを無料で支援する素晴らしい取り組みであるが、名称に「DX」とあると「うちには関係ない」「難しそう」と思われて、本来であれば支援を必要とする事業者を利用されない

答 ことが考えられる。「DX相談窓口」という名称は敷居が高く感じられるため、名称変更してはどうか。関係団体に意見を聞いて、今後の対応を検討していきたい。



小規模事業者は数も多く、地域経済や雇用の安定に直結するため、重点的な支援が必要

質問項目 ▶ 持続可能都市の実現



救急医療を守るための対策は

こばやしよしあき
小林由明

(創成)



答弁 啓発、リテラシー向上に取り組む！



県央基幹病院の救急患者数が年間1万件程となっており、救急体制は逼迫状態である。

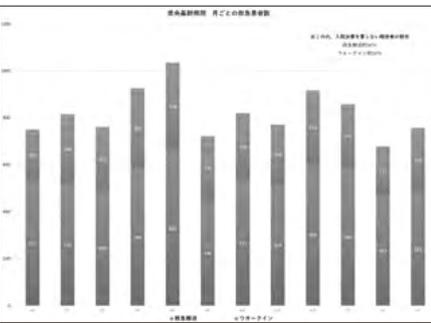
一方、入院に至らない軽症患者数は救急搬送で半数を占め、真に救急医療が必要な人に提供できない深刻な事態が増加するだけでなく、救急医療の崩壊を招きかねない。徹底した周知啓発はもちろん、住民の健康を守りQOLを高めるべく、ヘルスリテラシーの向上に力強く注力する必要がある。

問

夏は熱中症、冬は感染症で救急患者が増加するが、これらは予防が期待できるものである。短期的な傾向があることからその時々救急医療の状況を市民と共有しつつ、徹底した啓発が必要ではないか。

答

啓発も必要であるが、救急車を呼ばなかったために重篤な状態に陥る危険もあることから、ご本人や周囲の方の判断で、速やかな救急利用をしていただきたい。



入院治療を要さない軽症患者が大半を占め、命に関わる搬送受入が不可となったケースも

問

持続可能な医療体制を構築するためにも、市民一人一人が医療資源の有限性を認識し、適切な受診行動と自らの健康増進を心がけるヘルスリテラシー向上の取り組みが不可欠ではないか。

答

ヘルスリテラシーを高めることがこの問題解決の第一番だと考えている。

質問項目 ▶ 市内産業の労働力 企業誘致の現状 ICT教育の現状



燕市の将来的な産業構造は

たざわのぶりき
田澤信行

(新風みらい)



答弁 多様な企業と技術が集積されたまちに

問

燕市内の製造業における労働力は足りているのか、それとも労働力不足に陥っているのか伺う。充足度を直接示すデータはないが、直近の有効求人倍率やヒアリングから労働力不足が続いていると認識している。

答

将来の燕市の産業構造に対してどのようなイメージを抱いているか伺う。

問

洋食器、ハウスウエアという一つの美しい山にいろいろな加工技術等を持った企業群が集積・連携し、全体として見事な山脈が構成されるようなそんなイメージの企業群で構成されればよいと思っている。

教育現場の変化

問

ICT教育によって教育現場は大きく変化している。特に通信環境における不具合等、多くの課題があると思うが、それ等の対策について伺う。

答

WIFI環境による不具合については



ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2025グランプリ受賞製品

今議会の補正予算でネットワークの改善を提案している。また、日々のトラブルや課題等は全学校と教育委員会と共有し、対応している。今年度、教育委員会では教員向けのICT活用研修を3回計画しており、教職員が必要とするスキルを習得できるように取り組んでいく。



質問項目 ▶ 市道の視認性・安全性の確保 部活動の地域展開



録画映像

市道の道路標示の再塗装を！

おかやまひでよし
岡山秀義

(創成)



答弁 予算の範囲内で可能な限り対応している



市道の一部で、車道と歩道を区切る白線やセンターライン、停止線、横断歩道、注意を促す路面標示等が消えかかっている。特に歩道と車道を区分けするラインが消えかかっており、通学に不安な児童・生徒・保護者も多い。また、夜間や雨天時には視認性が極端に低下し、歩行者・自転車・車両全てにとつて危険な状態である。市民からの要望の声は多い。子供から高齢者まで毎日利用する道路の安全を早急に確保すべきだ！



市道における白線・区画線の劣化状況等をどのように把握しているか。危険度の高い箇所は早急に対応しなければならぬが、どのような基準で補修や再塗装の優先順位を決めているのか。実際に寄せられた自治会や市民からの通報や要望に対して、どのように応えているか伺う。



除雪車による削り取りや交通量等により、摩擦程度が異なることから、

日々の道路パトロールで点検している。自治会や道路利用者からの通報により現地を視認確認している。これらの確認によつて危険度、補修修繕の予定などを考慮して優先順位を定め、再塗装を実施している。



毎日利用する通学路でも白線が消えている。安全・安心に生活できるよう早急な対応を！

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目 ▶ 原発再稼働問題 指定管理施設 マイナンバー保険証



録画映像

知事との懇談会にどう臨むか

ながいゆきお
長井由喜雄

(日本共産党議員団)



答弁 私は再稼働には賛同できないと伝えたい



柏崎刈羽原発再稼働の是非をめぐる県民投票条例は県議会で自民、公明、真政に問うたが否決した。知事は県民対象の公聴会のほか、市町村長との懇談会で意見を聞くとしている。鈴木市長はこの席でどういう立場を表明するのかを問うた。



県議会では、参考人の今本啓介氏が有効署名14万3196筆を軽視する発言や、「せいぜい自分ごととして考えられるのは隣接市町村までではないか」と述べ、反対した県議もこれらの立場に立ったことは残念だった。態度を明確にしない首長もいる中で、市民の命と暮らしを守る立場から、鈴木市長はどのような姿勢で懇談会に臨むのか伺う。



3点言いたいと思う。いまだに不祥事が続く東京電力の原発事業者としての適格性に県民の不信感はまだ根強いこと。避難計画の実効性においても、住民が納得できるまでまだ

不十分で実効性乏しいというところが2点目。さらに言えば、福島原発の訴訟などをみる限り、万が一重大な事故が発生した場合の国の責任が曖昧な点も気になる。これらの懸念課題が解消されない限り、再稼働に私としては賛同できないということを知事に伝えたい。



賛成16、反対36で条例案は否決され、知事は市町村長との懇談会で意見を聞くとしている (写真はしんぶん赤旗提供)

質問項目 ▶ 市長の政治姿勢 所得制限撤廃



4期15年半の政策達成度は

わたなべひろのぶ
渡邊広宣
(市民クラブ)



答弁 議会と市当局の関係と市民に感謝

行財政改革では、公共施設の統廃合や集約、社会教育施設の使用料見直しなど持続可能な改革に取り組んだ。これも議会と市当局の関係と市民の理解と感謝している。

4期の選挙を経てそれに伴う所信表明、施政方針で掲げた政策方針の達成度を伺う。
就任して「燕はひとつ」を合言葉に、一体感の醸成の様々な行政課題に新たな発想とアイデアで取り組み、全国に先駆け人口減少対策を明確に3つの人口増戦略の第2次燕市総合計画を策定した。人口減少社会対応の地方創生を推進し、減少率は低い状況を維持し燕市に住み続けたい市民や移住者数、ふるさと納税額は順調に推移してきた。

問 4期の選挙を経てそれに伴う所信表明、施政方針で掲げた政策方針の達成度を伺う。
答 就任して「燕はひとつ」を合言葉に、一体感の醸成の様々な行政課題に新たな発想とアイデアで取り組み、全国に先駆け人口減少対策を明確に3つの人口増戦略の第2次燕市総合計画を策定した。人口減少社会対応の地方創生を推進し、減少率は低い状況を維持し燕市に住み続けたい市民や移住者数、ふるさと納税額は順調に推移してきた。

人口減少社会で
燕市の未来像は

まち全体を賢く
縮めるまちに



15年間市政の執務を行ってきた市長室

問 昨年の合計特殊出生率が1・15%の少子化下の燕市の未来像を伺う。
答 人口が減る前提でコンパクトシティの推進と公共施設の適正化の必要があると考えている。

質問項目 ▶ 耕作放棄地対策と農業再生 猛暑対策と公共施設の活用



地域農業の未来は

こばやしあきみつ
小林秋光
(創成)



答弁 持続可能な燕市農業へ多角支援

問 暑さ対策として市の取り組みを伺う。
答 夏の猛暑に備え、ウェブサイトや広報紙に加え、今年度からは「健

燕市の夏の暑さ対策

また、新規就農者の確保と担い手の育成を喫緊の課題とし、今年度も「踏み出せ！農業！スタートアップ事業」などで積極的な支援を行い、これらの取り組みにより、耕作放棄地の解消と農業の持続的な発展を目指していく。

農地の再生には時間と労力がかかるため、農業委員会と連携して対応を進めている。

問 耕作放棄地対策と農地再生について伺う。
答 燕市では現在、12・3ヘクタールの荒廃農地と4ヘクタールの遊休農地があり、若干の増加傾向にある。市は「農地パートナー」や「eMAFF農地ナビ」を通じて状況を把握し、早期発見に努めている。



MAFFアプリは、農林水産省が提供する農林漁業従事者向けの公式アプリ。役立つ情報が届く

さらに、公共施設を「おやすみ処涼館」として開放し、今年度も6月から10月まで23か所で開設している。

特に高齢者には地域包括支援センターと連携し、サロンや家庭訪問を通じ啓発と見守りを強化し、水分と三食の食事の際に汁物等での塩分補給を呼びかけている。

「健康・医療・子育てLINE」で年齢に応じた予防行動を周知していく。



質問項目 ▶ 新型コロナワクチン接種による健康被害 新たな敬老事業



録画映像

市長に報告していたのか

タナカ・キン
(市民クラブ)



答弁 因果関係が不明のため報告していない



新型コロナワクチン接種後の健康被害について、国の死亡認定数は現在、1000人を超えている。その中には燕市民も1人含まれている。後遺症に苦しんでいる人は、どれほどいるのか分からない状況である。そのような市民に見舞金を支給できないものだろうか。

新型コロナワクチン接種を2回目受けられなくて死亡した人数について。
住民基本台帳で確認すると74人である。接種後一週間で死亡した人は1回目5人、2回目4人、3回目5人、4回目4人とこれだけ短期間で亡くなっていると、コロナワクチン接種との因果関係はあると思うが、国は認めようとしていない。因果関係を認めているのはたった2人である。後遺症に苦しむ市民の相談件数について。令和3年度3件、4年度7件、5年度6件、6年度4件、7年度5月末までで1件である。

問 予防接種健康被害救済制度新型コロナワクチン年代・性別 死亡認定数

年代	男性	女性	認定数
10代以下	8	2	10
20代	22	6	28
30代	26	3	29
40代	36	15	51
50代	65	19	84
60代	89	53	142
70代	192	101	293
80代	133	123	256
90代以上	32	69	101
合計	603	391	994

出典：「おかしくないですか!? 日本人・謎の大最死 知ってください、衝撃の事実」 著者/藤江成光

副反応や後遺症に苦しむ人に医療費等の経済的負担を支援することを目的に、名古屋市や市川市、県内では新発田市が市独自に見舞金を支給している。検討できないか。



現在のところ検討していない。



副反応や後遺症に苦しむ人に医療費等の経済的負担を支援することを目的に、名古屋市や市川市、県内では新発田市が市独自に見舞金を支給している。検討できないか。

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目 ▶ 県央5市町村との連携 重症心身障害児(者)等への支援 不登校対応



録画映像

周辺市町村との今後の連携は

佐野大輔
(新風みらい)



答弁 協力しながら持続的発展が必要と考える



人口減少が進む中で、これからの人口規模を見据えて、これまで二つの市で行ってきたことや維持してきた施設について、より広域で整理・集約したり役割分担する必要性が考えられる。

公共施設においては、今後は、県央5市町村など広域での集約化も必要と考えるがいかがか。施設によっては、他市町村との統廃合も含めた広域での集約化は検討する必要がある。まずは必要性について市民への働きかけ、意識転換を進めていく必要がある。

人口減少対策や産業振興など政策も市レベルだけではなく、5市町村での広域連携した政策が今後必要と考えるが、市の考えを伺う。

広域的な対応が相互のメリットとなる分野では、周辺市町村と協力しながら都市機能の充実や市民サービスの向上を図り、持続的な発展につなげていく。

重症心身障害児等へ移動支援

障がいのある方に対して、新潟市が実施している送迎のみの移動支援を燕市で導入できないか伺う。



新潟市での実施方法を参考に、専門部会や関係部署で協議を行なっている。今後も障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう協議を進めていく。

現在の計画では文化会館は、今後、改築検討期に他自治体との広域連携も検討



政務活動費の収支をお知らせします



政務活動費は
議会ホームページ
で公開しています

令和5年度までは、各会派に対して「4月1日の所属議員数に基づいて一人当たり月額2万円」としていました。令和6年度からは、各会派に対して「4月1日の所属議員数に基づいて1人当たり月額1万円」、議員個人に対して「1人当たり月額1万円」をそれぞれ一括して交付します。なお、残額がある場合は市へ返還します。

会派別政務活動費収支報告（令和6年4月～令和7年3月）

単位：円

項目	会派・議員数	公明党	市民クラブ	日本共産党議員団	新風みらい	創成	合計 (=議員数)
		2人	2人	3人	5人	8人	20人
政務活動費交付額①		240,000	240,000	360,000	600,000	960,000	2,400,000
支出②		219,773	64,050	32,793	601,889	865,150	1,783,655
差引(①-②)		20,227	175,950	327,207	-1,889	94,850	616,345
政務活動費返還金		20,227	175,950	327,207	0	94,850	618,234

個人別政務活動費収支報告（令和6年4月～令和7年3月）

単位：円

項目	議員名	齋藤和也	稲村隆行	佐野大輔	近藤隆行	高橋妙子	小林秋光	大島靖浩
	政務活動費交付額①		120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
支出②		117,589	57,464	122,560	86,600	133,680	68,950	104,100
差引(①-②)		2,411	62,536	-2,560	33,400	-13,680	51,050	15,900
政務活動費返還金		2,411	62,536	0	33,400	0	51,050	15,900

項目	議員名	田中淑子	岡山秀義	田澤信行	藤井秀人	宮路敏裕	中山眞二	タナカ・キン
	政務活動費交付額①		120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
支出②		137,400	108,000	137,400	120,000	12,000	133,660	87,830
差引(①-②)		-17,400	12,000	-17,400	0	108,000	-13,660	32,170
政務活動費返還金		0	12,000	0	0	108,000	0	32,170

項目	議員名	長井由喜雄	齋藤信行	渡邊広宣	土田 昇	小林由明	渡邊雄三	合計 (議員20人)
	政務活動費交付額①		120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
支出②		98,410	120,000	48,000	12,000	113,990	71,520	1,891,153
差引(①-②)		21,590	0	72,000	108,000	6,010	48,480	508,847
政務活動費返還金		21,590	0	72,000	108,000	6,010	48,480	573,547

6月定例会の議決結果



網かけ()は、賛否が分かれた議案等です。賛成数・反対数、議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。議案等の詳細、過去の賛否内訳も議会ホームページから見るすることができます。

番号	件名	審議結果	掲載ページ
報専決処分告の	2	燕市税条例の一部改正	◎
	3	燕市国民健康保険税条例の一部改正	◎
	4	令和6年度燕市一般会計補正予算(第11号)	◎
	5	令和7年度燕市一般会計補正予算(第1号)	◎
人事	1~5	人権擁護委員候補者の推薦	◎
	37	燕市教育委員会委員の任命	◎
契約の締結	38	分水公民館大規模改修工事(建築)	◎
	39	分水公民館大規模改修工事(電気設備)	◎
	40	分水公民館大規模改修工事(機械設備)	◎
	48	B&G海洋センター移転建設工事(建築)	◎
	49	B&G海洋センター移転建設工事(機械設備)	◎

番号	件名	審議結果	掲載ページ
条例	41	燕市税条例の一部改正	◎
	42	燕市福祉の家条例の廃止	◎
	43	燕市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正	◎
	44	燕市児童クラブ条例の一部改正	◎
その他	45	財産の処分(旧燕労災病院敷地)	◎
	46	財産の取得(学習用コンピュータ等)	◎
予補算正	47	令和7年度 燕市一般会計補正予算(第2号)	◎ P4-5

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

議会日誌

主な動きをお知らせします

5月12日	議会運営委員会
5月15日	市民厚生常任委員会 市内視察 産業建設常任委員会 市内視察
5月16日	総務文教常任委員会 市内視察
5月20日	燕・弥彦総合事務組合議会 第1回臨時会
6月 5日	議会運営委員会
6月 9日	全員協議会
6月10日	議会広報等特別委員会
6月16日	本会議(初日)
6月17日	本会議(2日目)
6月18日	本会議(3日目)
6月20日	総務文教常任委員会
6月23日	市民厚生常任委員会
6月24日	産業建設常任委員会



議会中継はこちらからご覧いただけます

6月27日	議会運営委員会、全員協議会、本会議(最終日)
7月14日	議会広報等特別委員会
7月24日	三市議会議員合同研修会
7月29日~30日	大河津分水大改造事業促進特別委員会行政視察

視察の受け入れ

4月21日	新潟県胎内市	議会運営のデジタル化
5月 8日	新潟県議会 総務文教委員会	燕市教育の取組について
5月21日	愛媛県四国中央市	公共交通施策について
6月30日	秋田県横手市	職場づくり推進補助金、 つばめ産学協創スクエア事業
7月24日	大分県別府市	つばめ若者会議について
7月29日	山口県下関市	地域の人事部@燕について

Gikai Topics

市政の発展に尽力

全国市議会議長会と北信越市議会議長会から、長年の功績を称えて表彰されました。6月27日、議場において、表彰状と記念バッジの授与が行われました。

在職
20年以上
正副議長歴
4年以上



中山真二 議員

正副議長歴
4年以上



渡邊雄三 議員

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声

こども食堂

今号から、「こども食堂」を紹介していきます。

分水地区
**こどもの居場所
SAKURA ぶんすい**
(分水福祉会館)



地域でつながる
みんなのこども食堂♪

子供のありのままを受け入れられる場所があることが大切だと思います。開設しました。弱いつながりでも、たくさんのつながりがあることで子供たちのセーフティネットになり得ると思っています。毎週土曜日、ボランティアスタッフが子供たちと一緒に過ごすことで、異年齢の交流がはかられています。分水の多世代交流拠点として、市内外問わず、いろいろな方に来てほしいと思っています。

代表者 **佐藤 昌子**さん(小児科医)

吉田地区
つばめ地域食堂
(東栄町自治会館)

こども食堂の支援に
感謝しています!



⑤ 担当者 **河合 純**さん
⑥ 学生ボランティア **竹田 菜音**さん

元々県内や被災地で子供の支援に関わっており、そこで得た知識や経験を地域に還元できればという思いで、2017年からこども食堂を始めました。

参加者は子供だけでなく、様々な世代の方々も来てくれて、地域の交流の場ともなっています。

議会だよりは読んでいます。市からはこども食堂の運営を支援してもらい、ありがたいです。

燕地区
みなみくーちゃん食堂
(コミュニティセンター殿島)



燕市は子供にとって
よいまちです♪

月に1回コミュニティセンター殿島を使わせていただき、こども食堂を運営しています。

子供たちの居場所とともに、食事を作る体験をしてもらいたい、地域の大人と子供が触れ合う機会をつくりたいという思いで始めました。中高生の方も大歓迎なのでぜひ気軽に来てください!

議会だよりは全体を眺めながら気になる記事に目を通しています。

燕市は、こども食堂への助成金もですが、海外派遣や様々な取り組みなど子供にとって、とてもいいところだと思います。

代表 **白樺 晴江**さん

From editor

編・集・を・終・え・て

時代がスマホなどデジタル化が進む中で、多くの方に読んでいただけるよう議会だよりは紙面での提供を行っています。これからも「市民の声」での聞き取りを通して広く市民の現況をお伝えするなど「伝わる」議会だよりの編集に取り組みたいと思います。(齋藤信行)



Cover story

今・号・の・表・紙

表紙(No.35~No.45, No.56~No.82)を担当してくれていた金子明さんが亡くなりました。東京時代に漫画の新人賞を受賞し、デビューか?というところでしたが夢はかないませんでした。若い頃のアダ名が「ゴジラ」。そして野球漫画が好きだったことから、組み合わせてみました。合掌...



¥FREE (for 燕市民)
燕市議会 TSBN15213-2025

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。
UD ユニバーサルデザインフォント

議会だよりは年4回(2月1日・5月1日・8月1日・11月1日)発行。各戸配布のほか、議会ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



「マチイロ」のダウンロードはこちらから